

本会議での質疑と答弁

本会議での質疑と答弁は、要約したものを掲載しています。詳細は、9月下旬以降、各市立図書館において会議録でご覧いただけます。また、市議会のホームページの会議録検索システムでも9月下旬以降閲覧できます。

今回提案されていない マニフェスト項目について

議員 マニフェストの中で、市民が関心を持っている項目は、女性副市長の設置や市長の退職金廃止、市長の多選自粛条例制定である。これらは、今回提案されていないが、今後何らかの方針転換があるのか。

市長 女性副市長は、子育てや教育、福祉など、女性の感性と経験が活かせる分野の担当を考えている。

現在、高い識見と経験を持ち、市長の補佐役として組織を統括できる人を対象に人選を進めている。候補者が決定次第、議会に諮りたい。

次に、市長の退職金は、多額の退職金を受け取るのとは適当でないという信条に基づき、これを受け取らないと公約した。実施時期が決定次第、速やかに議会に諮りたい。

また、多選自粛条例の制定は、最近、国での議論が始まっている。先日、連続三選以上を法律で制限

することは憲法に反しないとの判断が示された。これを受けて知事や政令市長に対し、連続四選以上を法律で制限する方向で検討すると聞いている。

このため、条例制定は法整備の動向を見守る必要がある、国での結論が出た段階で速やかに対応したい。

医療センターでの リンパ浮腫治療の充実を！

議員 乳がんや子宮がん手術の後遺症にリンパ浮腫という症状がある。市立医療センターでは、この予防や治療に効果的なリンパドレナージが専門の理学療法士により行われていないが、これを希望する患者は多い。取組を充実すべきではないか。

病院長 医療センターでは、乳がんや子宮がん手術後の患者に対して、リンパ浮腫防止のために、セルフマッサージ方法の指導や、機器を使ったマッサージ療法などを実施している。

また、必要に応じて、リンパドレナージを行っている福岡市の病院や、リンパ浮腫の外来を持つ小倉北区内の診療所を紹介するなど、患者のフォローにあたっては、今後は、医療センターにおいて六月に開設した「がん診療相談支援センター」で、外来や入院患者だけでなく、幅広くがんの相談に応じていく。

また、リンパ浮腫についても、情報提供や様々な相談に応じられる体制づくりを進めていきたい。

※リンパドレナージ
リンパ浮腫の治療過程の一つで、手足に滞っているリンパ液が循環するように手でマッサージすること

原因究明と周知徹底を！

▼光化学スモッグ対策▲

議員 本市で光化学スモッグが頻りに発生している。市民生活に影響が出た。そこで、原因究明にあたって今後どのように取り組むのか。

また、注意報発令の際、市民への正確な情報伝達が重要だが、その方法についても尋ねる。

局長 今回の原因は、気象条件などによるオゾン濃度の上昇と、大陸からの高濃度オゾンの流入が重なったことだと考えている。

特に、大陸からの高濃度オゾンの流入は、本市だけで対応できる問題ではない。そこで、福岡県と共同研究を開始するとともに、環境省に対して、原因究明と国際的な対応を視野に入れた対策を申し入れた。

一方、市民への周知は、テレビや市のホームページなどを活用するとともに、学校等への連絡を教育委員会を通じて行ったが、十分との指摘があった。

そこで、グリーンパーク等の人が多く集まる公園への連絡体制の見直しや、携帯電話へのメール配信を開始するなどの改善を行った。今後、市民に迅速、確実に情報が届くよう工夫したい。

市の直営で大丈夫？

▼びびきコンテナターミナル▲

議員 びびきコンテナターミナルは、民間による運

営から市の直営となるが、本当に大丈夫なのか。環黄海圏ハブポート構想におけるコンテナターミナルの将来展望とあわせて見解を尋ねる。

港務局長 現在、企業誘致の進展やフィーター航路の就航による背後圏の拡大などにより、びびきコンテナターミナルの取扱貨物量は増加している。

また、新たな企業誘致や港運事業者参入のための環境整備など、利用促進につながる動きも出てきている。

今後は、このような好環境を逃すことなく、市内全域の港運事業者などとの連携を強めながら、一つ一つ実績を積み上げていくことで、ハブポートとしてのびびきコンテナターミナルを再生できると考えている。

※フィーター航路
主要港のみに寄港する大型コンテナ船に、主要港以外の貨物運び、積み替えるための輸送航路



びびきコンテナターミナル